

京都亀岡イノベーションヒルズ構想について

【担当省庁】内閣官房、内閣府

Society5.0の実現に不可欠なメカトロニクス分野（機械、電気、電子、情報工学の融合）の研究開発・人材育成を核とした、京都府南丹地域初の産学公連携拠点が、本府とも連携の上、亀岡市及び京都先端科学大学等により「京都亀岡イノベーションヒルズ構想」として計画されており、拠点形成を推進するための財政支援をお願いしたい。

【現状・課題等】

■産業構造の脆弱性

- ▶ 亀岡市は、歴史的に京阪神地域のベッドタウンとして発展し、産業構造が人口規模依存型のサービス業中心（不動産賃貸業、公共サービス業等）となっている。
- ▶ 少子高齢化、生産年齢人口減少に伴い地域経済衰退が予測され、新産業創造や雇用創出等により経済効果が見込める製造業等への転換など産業構造の再編が必要
- ▶ 高度技術人材の不足により製品企画・開発力が低下しており、Society5.0を見据え、メカトロニクス分野の要素技術全般に精通した人材の確保が必要
- ▶ 産業構造の再編に向け、産業クラスターの形成、関連企業の集積を図るため、大学の「知」や研究機関の先端技術等と連携したイノベーションの推進が必要

■京都亀岡イノベーションヒルズ構想 [概要]

- ▶ **推進主体**：亀岡市大学振興・若者雇用創出推進会議
（構成機関）亀岡市、京都先端科学大学、日本電産(株)、亀岡商工会議所、
（株）京都銀行、京都府立南丹高等学校、京都府 他
 - ▶ **事業内容**：
 - ・ SiCを活用した省電力の機電一体型アクチュエータユニットの研究開発・実証
「オール京都」で長年ブラッシュアップしてきたSiC(炭化ケイ素)の研究蓄積を強みとし、市場成長の著しい、EV等に用いる動力ユニットの開発・実証
 - ・ ハードウェアとソフトウェアの横断的知識を併せ持つグローバル人材の育成
キャップストーンプロジェクト（産学連携の研究開発への学生の参画）や、大学の教育活動と一体となったりカレント教育等による人材育成
 - ・ オープンイノベーション拠点の整備
今年4月に工学部を新設した京都先端科学大学の京都亀岡キャンパスに産学公連携による拠点を整備
- ⇒これらの取組を有機的に進め、企業において即戦力となる人材の育成と地域への定着、製造業振興と産業クラスター形成を通じて産業構造再編を目指す。

京都府 の担当課	商工労働観光部 ものづくり振興課(075-414-4849)
-------------	--------------------------------

【国の事業等】

■地方大学・地域産業創生交付金〔内閣府〕 72.5億円

首長のリーダーシップの下、産官学連携により、先端的な研究開発や人材育成等を行う優れた取組を重点的に支援

【京都府の取組】

■産業振興施策の面的展開

京都府南丹地域初となる産学公連携拠点の構築は、亀岡市だけでなく、府域の産業振興を図る上で大変重要であり、また、京都府の南部から北部まで産業支援拠点がつながることによる拠点連携効果や産業振興施策の面的展開への期待が大きく、府独自の産業支援施策等により支援

(施策例)

▶ 「企業の森・産学の森」推進事業

新たな産業文化を創生する企業グループの形成や産学連携プロジェクトの組成から、製品等の試作・研究開発、実用化に向けた市場開拓、生産設備投資等を一貫して支援する事業展開・開発経費を補助

▶ けいはんなロボット技術センター(AIによる自律ロボット開発支援拠点)や北部産業創造センター(ネットワーク対応のCAEシステム導入)等における開発支援

▶ 国家戦略特区等の国関連制度の活用や京大COI STREAM等国プロジェクトとの連携

▶ その他、京都ビッグデータ活用プラットフォームによる課題解決プロジェクトの推進、京都丹波経営革新企業クラブによるネットワーク強化、京都府京大オフィスによる産学連携マッチング 等

▶ 企業立地を支援する補助金等各種優遇制度(令和4年完成予定の企業団地への製造事業者の立地促進)